

統合準備ニュース 第2号

2014. 6 発行

編集発行: 統合準備委員会事務局
 問合せ先: 仙台市教育委員会
 学校規模適正化推進室
 TEL: 214-8432 FAX: 264-4428
 Mail: kyo019031@city.sendai.jp

◆◆第2回統合準備委員会を開催しました◆◆

統合準備委員会は、両校・両校父母教師会・坪沼地区振興会・生出学区連合町内会・両学区民体育振興会の代表者と教育委員会で構成し、統合に向けた話し合いを行っています。

日時: 平成 26 年 5 月 27 日(火) 18:30～
 場所: 生出市民センター 第一・二講義室

民間タクシーによる通学が始まっています

今年度、坪沼小学区から生出小へ通学している子どもたちは、学区外通学ではありますが、民間タクシーを利用して登下校をしています。

子どもたちは、タクシーによる登下校に慣れ、乗務員に元気にあいさつやしっかりとした返事をしており、放課後はタクシーが来るまでの間、待機場所である図書室で勉強や、上学年が下学年の子どもたちに本の読み聞かせをするなどして過ごしています。



登校時のタクシー乗車の様子

統合に向けて準備を進めています

○ 児童間交流

両校は、平成 21 年度から交流学习を行ってききましたが、今年度は、「よつばフェスティバル」や「学芸会」の行事に参加するほか、高学年では中学進学を意識させていくための中学校での授業体験や、学校全体で交流する児童会での取組みなど、新たな活動を取り入れることになりました。

統合の前から子どもたちが仲良くできるよう、学年または学校全体で児童間交流を進めていきます。

○ 両校合同会議

両校の教職員が一同に会し、平成 27 年 4 月の統合に向けて、子どもたちがスムーズに学校生活をスタートできるように、準備を進めていくことを確認しました。

両校の良さや、これまで両校が地域とともに育んできた活動や取組みを活かしていくことなど、特別活動や学校行事などの教育活動について共通理解を図りました。

○ 学区民体育振興会

5 月 9 日(金)に、両学区体振の代表者が集まり、これまで行ってきた活動内容と備品・資産関係の調整について話し合いが行われ、今後、数回にわたり協議を重ねていくことが確認されました。その中で、スポーツを通じて地域を活性化する活動や、今後の行事などについて話し合いが行われるとのこと。

<H26 児童間交流予定表>

| | 交流日 | 活 動 | 交流学年 | 内 容 | 会 場 |
|----|------------|------------------------------|-----------|------------------------|-------|
| 1 | 6月 6日(金) | 顔合わせの会 企画レクリエーション | 5・6年 | 子どもたちが考えた企画で共に活動 | 坪沼小 |
| 2 | 7月 11日(金) | よつばフェスティバル | 全学年 | 合同の児童会行事実施 | 生出小 |
| 3 | 9月 11日(木) | 応援及び陸上練習 | 5・6年 | 練習を合同で開催 | 坪沼小 |
| | 9月 24日(水) | 市体育大会 (陸上記録会) 出場・応援 | 5・6年 | 陸上記録会参加 合同で応援 | 陸上競技場 |
| 4 | 11月 13日(木) | 生出小学芸会 児童公開 | 全学年 | 学芸会参加 | 生出小 |
| 5 | 12月 16日(火) | 中学職場体験発表会 | 5・6年 | 職場体験発表会参加 | 生出中 |
| 6 | 1月 15日(木) | 中学校授業体験 (中学校で授業と質問会) | 6年 | 中学校教員による授業 | 生出中 |
| 7 | 2月 2日(月) | 通常授業参加 学級活動 児童会 給食等 | 5年 児童会 | 学級会や児童会で、統合に向けた話し合いや活動 | 生出小 |
| 8 | 2月 3日(火) | | | | |
| 9 | 2月 5日(木) | | | | |
| 10 | 2月 6日(金) | | | | |

両学区の注意箇所と各団体における安全対応を確認しました

学校・保護者・地域全体で学区の状況や注意箇所について確認することは、子どもたちの安全を守る上で大切であるため、両校の「安全マップ」をもとに作成した「注意箇所マップ」と「各団体における両学区内の安全対応」について情報を共有しました。

両学区に共通している注意点は、以下の3つです。

①川・池・沼が多い。 ②道路が狭く、歩道が少ない。 ③クマやイノシシなどが出没している。

このマップは、これからも情報を追加し、学校・保護者・地域全体で子どもたちの安全を守るために役立てていくことになります。

委員から、安全対応に関連して、「通学路はどうなるのか」、「子どもがタクシーを降りた後、長い距離を一人で歩かないようなタクシー経路を考えた方がいいのではないか」という意見が出されました。

統合後の通学路については、注意箇所を勘案しながら両校が相談し、教育委員会に申請していくことになります。申請後、教育委員会が関係機関と調整を行った上で承認します。

また、タクシーでの登下校については、経路や乗降場所を含めて、今後も、保護者・学校・地域の方々の意見を伺うとともに「注意箇所マップ」の情報を参考に、より安全な登下校ができるようタクシー会社と連絡を取りながら通学支援を行っていきます。

＜各団体における両学区内の安全対応＞

| 団 体 | 時 期 | 場 所 | 内 容 |
|------------------------------|---|---|--|
| 坪沼小学校 ・ 坪沼小学校 父母教師会 | ①学期始め（朝） ②夏季休業中（日中） ③防犯子どもを守ろうデー （毎月第2金曜朝） | 学校周辺 ・ 各地区 | 教職員と保護者が、それぞれの自家用車に巡視ステッカーを貼り、学校周辺や各地区に登下校時及び随時巡視 |
| 生出小学校 ・ 生出小学校 父母教師会 | ①学期始め ・長期休業後（朝） | 学校周辺 | 教職員が分担を決めて、数か所での登校指導 |
| | ②夏季休業中（日中） | 各地区 | 教職員が学区内各地区を巡回し、危険箇所や子どもたちの様子観察 |
| | ③防犯子どもを守ろうデー （毎月第2金曜朝） | 通学路 | 学校は学年部、保護者は各地区に分かれて、登校途中の子どもたちを指導・見守り |
| | ④引渡し訓練時 | 各地区 ・ 通学路 | 引渡し訓練帰宅時に、教職員と一緒に各地区の危険箇所を確認・点検 その情報をもとにした「安全マップ」の作成 |
| | ⑤通年 | 各地区 | 各自腕章を付けての地区巡視 |
| 坪沼地区 防犯ネット | ①月2回夜間 | 生出中学校区内 | 坪沼小を中心としたおやじの会が青色回転灯を車に付け、2班に分かれて巡視 |
| 交通安全 協会 | ①通年 | 学校・交差点等 | 生出小学校交通少年団結団式(4月) 両校の安全教室・レター作戦等 |
| | ②通年 | 各交差点 (叶酒店、ねぎぼうず前、ジョイフル前交差点、人來田交差点、赤石分校前信号、ローソン坪沼店前交差点) | < 理事 > 約40人 登校指導、交通量観察、運転者への注意喚起などのキャンペーン実施 < 指導隊 > 約12人 7:30～8:30交通指導隊員による街頭指導 (指導隊員1人あたり月4回程度活動) |
| | ③通年 | 生出・坪沼 ・赤石地区 | クマ・イノシシ出没情報収集と提供 今後、クマやイノシシ等に遭遇した場合の対処方法を子どもたちに注意喚起をする活動を計画中 |

＜注意箇所マップ＞

坪沼小学校区

→タクシー乗降場所

1

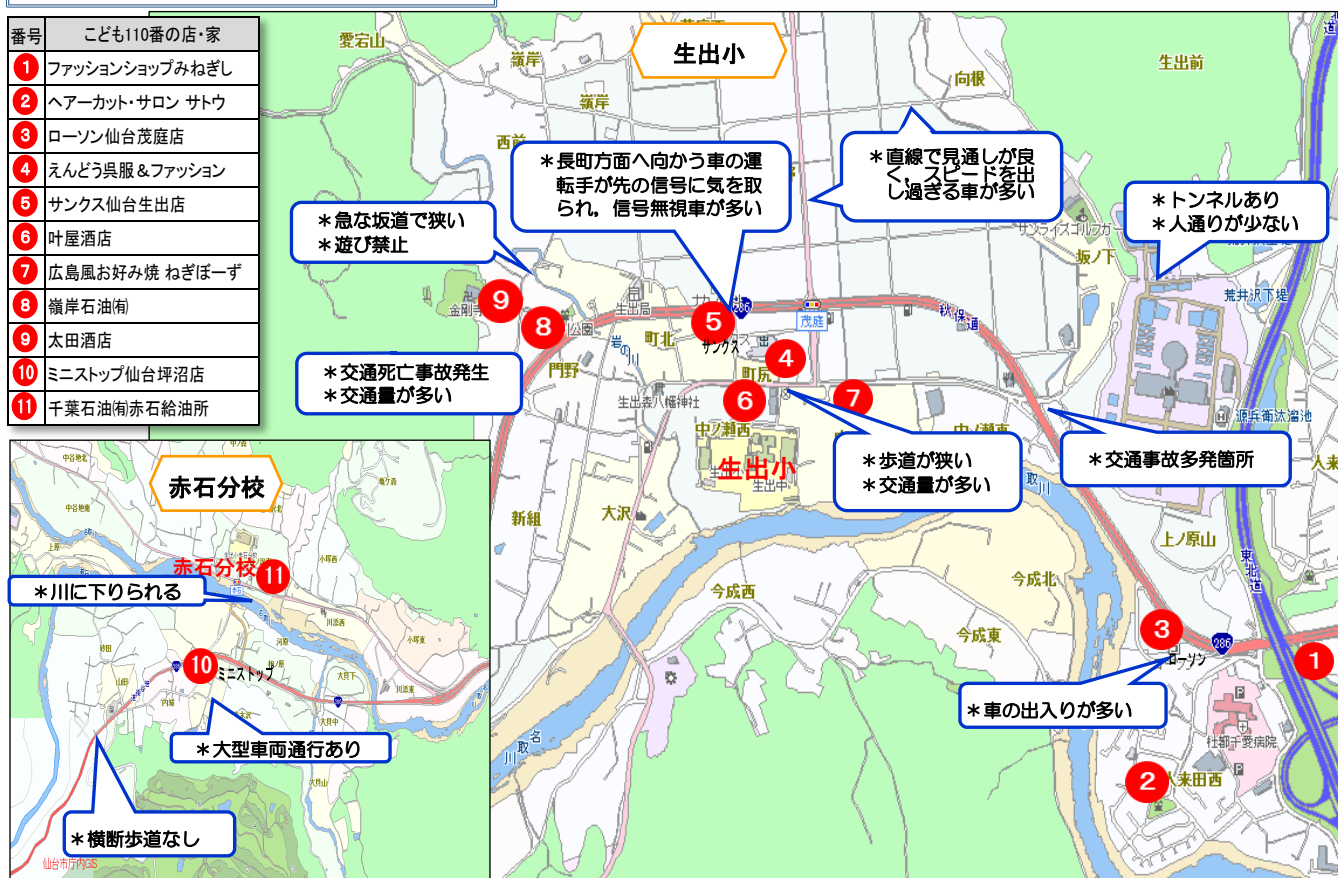
①→こども 110 番の店・家

| 番号 | こども110番の店・家 |
|----|-------------|
| 1 | 佐藤酒店 |
| 2 | 個人宅 |
| 3 | 個人宅 |
| 4 | 個人宅 |
| 5 | ローソン坪沼店 |



生出小（赤石分校）学校区

| 番号 | こども110番の店・家 |
|----|----------------|
| ① | ファッションショップみねぎし |
| ② | ヘアーカット・サロン サトウ |
| ③ | ローソン仙台茂庭店 |
| ④ | えんどろ呉服&ファッション |
| ⑤ | サンクス仙台生出店 |
| ⑥ | 叶屋酒店 |
| ⑦ | 広島島お好み焼 ねぎぼーず |
| ⑧ | 嶺岸石油(有) |
| ⑨ | 太田酒店 |
| ⑩ | ミニストップ仙台坪沼店 |
| ⑪ | 千葉石油(有)赤石給油所 |



◆◆◆◆坪沼小・生出小の統合に係る意見と対応(概要)◆◆◆◆

本年2月、両校・両地域の関係団体の皆様に「統合に係るご意見」をお伺いしました。皆様から寄せられた主な意見と対応についてお知らせいたします。

| 観 点 | | 主 な 意 見 | 対 応 |
|----------------------|----------------------------|--|---|
| 1 子どもたちの生活・安全面 | 児童間 交流 | ・統合後、すんなりと子どもたちが馴染めるよう積極的に交流会を開催していただきたい。 | ・両校は、これまでも交流学习を行ってきており、今後も両校の子どもたちがお互い仲良くなれるように内容等を十分考慮し実施していきます。 |
| | きめ 細かな 対応 | ・坪沼小の子どもたちが生出小に行っても、勉強のやりやすい健全な学校生活ができる態勢を整えてほしい。 ・子どもたちが環境の変化に馴染めるよう、統合前後に十分な配慮を行ってほしい。 | ・子どもたちの学校生活を全職員で見守りながら、学習面や生活面においてきめ細かに指導していきます。 ・児童が安心して学ぶことができる教育環境づくりを両校・保護者・地域で十分検討して進めていきます。 |
| | 子ども の 居場所 | ・登下校は、タクシーでの送迎ですが、下校時のタクシーの発車時刻までの間、校内で子どもたちが待機できるよう居場所の確保、乗り場までの安全性に留意するようお願いしたい。 | ・現在、子どもたちは、下校の時刻まで図書室で学習や読書などをして仲良く過ごしています。 ・タクシーの乗車場所までは、生出小教員が付き添って乗車させています。今後も学校で登下校の様子を見守っていきます。 |
| | 学校 運営 | ・生出小学校に坪沼小学校が吸収される様な統合ではなく、生出小学校と坪沼小学校が対等の立場で統合するという考え方をしてほしい。 ・校名はどうするのか。統合後の坪沼学区がなくなるということですが、学区のあり方について知りたい。 | ・統合準備を進めるにあたり、両校の児童、保護者、地域の皆様、教職員が大切にしてきた地域と学校の連携行事や特色ある教育活動・PTA 活動など、両校の良さを引き継ぎながら新たな学校づくりを行っていきます。 ・統合後の学区は、両校の学区が一つになって生出小学校区となり、校名は生出小学校となります。 |
| | 通学 支援 | ・小学生と中学生の通学の足を確保してほしい。 (長期にわたって) ・児童が安全かつ安心して登下校できるよう、全面的行政支援を願う。 | ・4月から民間のタクシーによる通学支援を行っています。 ・来年度以降も通学支援は行いますが、その内容や方法は、地域関係者や保護者の考えを伺いながら、児童が安心して通学できるよう検討していきます。 |
| 2 統合後の坪沼小学校施設のあり方 | 施設 管理 | ・施設の管理を地元へ依頼してはどうか。 ・地域が管理することは事実上困難であると考える。 | ・今後の施設のあり方が決まるまでの期間については、警備や除草等も含めて市で管理を継続します。 ・施設の管理運営については、今後、施設のあり方と併せて検討を進めます。 |
| | 施設 活用 | ・坪沼地域住民の方々の要望を第一に考慮してほしい。 ・坪沼地区のコミュニティを維持するために、地区の活動拠点になる施設になるよう、跡施設の活用方法をお願いしたい。 | ・地域の皆様からいただいたご意見を考慮しながら、様々な検討項目について市関係部局間で協議し、全市的な視点から今後のあり方を検討していきます。 |
| | 施設 開放 | ・体育館、図書室など要望があれば、開放、貸し出ししてもらえよう、お願いしたい。 ・スポーツ推進のためにも、校庭・体育館を坪沼市民委員会が管理したうえで、住民に自由に使用してほしい。 | ・施設開放は、坪沼小や周辺施設の利用状況などを踏まえながら、坪沼小施設のあり方の検討の中で、今後調整していきます。 ・今後施設のあり方が決まるまでの期間については、地域主体での管理運営を前提として、暫定的にスポーツ施設として開放することは可能です。 |
| | 具 体的な 活用 案 | ・地区の活動拠点になる施設 ・地域の文化的拠点として、生涯教育に係る施設 ・生出地域全体の多目的活動の施設として、行政で存続していただきたい。 | ・施設の具体的な活用案については、全市的な施設配置等のバランスを考慮しつつ、また、それらの実現可能性も見定めながら、市関係部局間で協議し、今後のあり方を検討していきます。 |
| 3 その他 | PTA | ・PTA 活動の問題を考えてほしい。 | ・両校父母教師会で調整をしています。 |
| | 乗 合 タ ク シ ー | ・坪沼乗合タクシーが行きづまっている状況でもあり、消滅しないよう地域と通学利用の両立運営ができるようにしていただきたい。 | ・ご意見として承り、市関係部局へ情報を提供していきます。 |

<次回開催予定>

日時：平成26年9月2日（火） 18:30～
場所：坪沼コミュニティセンター 多目的ホール

※取組み内容はホームページでもご覧いただけます。

仙台市教育委員会 一定規模確保

検索